

第1日：6月29日（土）

時間	A会場	B会場	C会場
	カリキュラム・教材(1)	教員養成／情報の科学(1)	教育の情報化(1)
9:30 ～ 10:30	生徒のプレゼンテーションから診る問題点 13 谷川佳隆(千葉県立船橋芝山高等学校)	ある情報科教職課程の教師の思索と遍歴:「教育の方法と技術」の授業実践報告 21 吉岡有文(立教大学)	同期型遠隔授業の手法とその効果 29 広田高雄(大阪府立今宮高等学校)
	LAN アナライザーを用いた情報セキュリティに関する学習内容の検討 15 伊藤大河(ジェイアール東海情報システム株式会社)・山本利一(埼玉大学)	課程認定科目「情報と職業」における体系的な問題解決手法の提案 23 佐藤克己(株式会社インフォスクリー)・樫山淳雄(東京学芸大学)・宮寺庸造(東京学芸大学)	電子黒板導入による教員のノンバーバルコミュニケーション量増加とその効果 31 高橋真也(東海大学)・白澤秀剛(東海大学)・坂田圭司(東海大学)・日向寺祥子(東海大学)
	プログラミング&アルゴリズム必修化の提言 ーすべての高校生にプログラミングをー 17 齋藤実(埼玉県立大宮高等学校)	「情報の科学」実践報告 ～年間計画と授業内容の変化～ 25 小原格(東京都立町田高等学校)	Web 会議システムを利用した遠隔地高校合同研究発表会の支援と評価 33 佐藤大記(東海大学)・白澤秀剛(東海大学)・飯塚浩(学校法人東海大学初等中等教育部)
	小中学校の接続を意識した情報モラル授業実践～小学校 5・6 年生と中学校 1・2 年生の指導を通じて～ 19 池田勇(嘉麻市教育センター)	Arduino 用 3G シールドの開発と教育での実践 2 27 天良和男(東京都立小石川中等教育学校)・高本孝頼(NPO 法人 3G シールドアライアンス)	
	カリキュラム・教材(2)	カリキュラム・教材(3)／情報科の考察・評価(1)	カリキュラム・教材(4)／その他
10:45 ～ 12:00	実験を意識した教科情報の科学的アプローチ 35 山本恒(ICT 活用教育研究所)・佐藤万寿美(兵庫県立西宮今津高等学校)	問題解決のためのチームプロジェクトの教材化と実践 45 後藤貴裕(東京学芸大学附属国際中等教育学校)	学校 Web ページのポータルサイト的な運用方法の実践報告 55 山室公司(大阪府立摂津高等学校)
	国語総合古典分野を題材としてメディアを学ぶ映像制作実習 37 田崎丈晴(千代田区立九段中等教育学校)	LMS を用いた国語リメディアル教育実現に向けた試み 47 那木勇氣(東海大学)・白澤秀剛(東海大学)	個人データの活用はどこまで扱えるか 57 生田研一郎(中央大学杉並高等学校)
	グループワークを活かした理科実験教材開発 39 岡田工(東海大学)・崔一英(東海大学)	「コンピュータの計算原理」を理解させる体験的な学習法と教材の考察 49 間辺広樹(神奈川県立柏陽高等学校)	“シニア・シルバー世代”に向けた情報教育 59 石田典雅(NPO 法人情報教育支援研究会)・中村宗一郎(九州工業大学 情報教育支援士会)・吉田武臣(NPO 法人情報教育支援研究会)
	大学生の大学講義と日常生活の ICT スキルの関連について ー Mac・iLife の利用を中心にー 41 右島綾香(茨城大学)・本田敏明(茨城大学)	新入生アンケートから見た教科「情報」について 51 小林貴之(日本大学)	協働学習における e ポートフォリオを活用した授業設計と実践 61 平田英一郎(東京学芸大学)・森本康彦(東京学芸大学)・齋藤実(埼玉県立大宮高等学校)・宮寺庸造(東京学芸大学)
遠隔学習環境における学習スキル育成プログラムの提案と実践 43 鷹岡亮(山口大学)・新田拓也(山口大学)・霜川正幸(山口大学)・阿濱茂樹(山口大学)・渡辺芳雅(誠英高等学校)	情報教育に関する『手引』が目指すもの ー序文の変遷に着目してー 53 中園長新(筑波大学)	学習者中心授業デザインのための学習指導要領からの学習活動抽出と情報科における授業実践 63 天井崇人(東京学芸大学)・森本康彦(東京学芸大学)・春日井優 (埼玉県立朝霞高校)・宮寺庸造(東京学芸大学)	

全体企画

懇親会

時間	G会場		時間	4号館地下食堂
13:00～13:40	総会		17:30～19:30	懇親会
13:40～13:50	開催校挨拶	土屋守正(東海大学情報化推進本部 本部長)		
14:00～14:30	基調講演	岡本 敏雄(日本情報科教育学会長)		
14:30～15:30	招待講演 1	新井 孝雄(文部科学省参事官)		
15:40～16:40	招待講演 2	村井 純(慶應義塾大学) タイトル:「サイバースペース時代:情報教育の役割」		

第2日：6月30日（日）

時間	A会場	B会場	C会場
	カリキュラム・教材(5)	教育の情報化(2)／プログラミング	カリキュラム・教材(6)
9:20 ～ 10:35	情報通信ネットワークを活用した情報の授業(1) 教員のためのポータルサイト 65 稲川孝司(大阪府立東百舌鳥高等学校)・勝田浩次(大阪府立東百舌鳥高等学校)	e-Learning のための Moodle を活用した情報科授業での実践と成果 75 隅田詠吉(津田学園高等学校)	ICT を活用した知的財産教育の実践的研究 ～遠隔教育におけるアイデアの共有による協働学習の実践～ 85 阿濱茂樹(山口大学)・北野和義(岩国市立灘中学校)・山多貴宏(防府市立華浦小学校)
	情報通信ネットワークを活用した情報の授業(2) 生徒のためのポータルサイト 67 勝田浩次(大阪府立東百舌鳥高等学校)・稲川孝司(大阪府立東百舌鳥高等学校)	プログラミング学習における高大連携 77 坂田圭司(東海大学)・遠藤陵二(東海大学付属浦安高等学校)	イギリスにおける CS 教育カリキュラム改革の動向 87 中條道雄(関西学院大学)
	「情報教育」と「外国語としての日本語教育」の融合の試み 69 伴野崇生(東京農工大学)	プログラミング学習支援エディタ FreeBee の開発 79 尋木信一(有明工業高等専門学校)	ワンコインサーバを利用した教科「情報」の授業 89 鹿野利春(石川県立金沢二水高等学校)
	「情報的な見方・考え方」と「3 種の知識」統合による問題解決力の育成 71 玉田和恵(江戸川大学)・松田稔樹(東京工業大学)	他教科との連携を図る題材選択 81 山下裕司(山口県立岩国高等学校)	情報モラル教材におけるストーリー性と共有再利用性を考慮した教材構成手法の開発 91 榎本智宏(東京学芸大学大学院)・森本康彦(東京学芸大学)・中村勝一(福島大学)・宮寺庸造(東京学芸大学)
	中学校における総合学習への接続を意識した情報教育の実践 73 安谷元伸(滋賀大学教育学部附属中学校)	プログラミング教育で利用する教材に関する一考察 83 穴田浩一(早稲田大学高等学院)	情報科教育におけるビジネスゲーム BG21 の有効性 93 成川忠之(東海大学)
	カリキュラム・教材(7)／情報の科学(2)	情報科の考察・評価(2)	高大連携／社会と情報
10:45 ～ 12:00	共通教科「情報」の科目履修における生徒選択制導入の成果と課題 95 佐藤万寿美(兵庫県立西宮今津高等学校)	高等学校「情報」の学習定着にかかわる一考察(2) ～「情報とは？」の自由記述を題材として～ 105 中村佐里(IT サポートありのみ)・波多野和彦(江戸川大学)	高校教科「情報」を大学生が支援する授業への考察 115 村上徹(関西中央高等学校)・西端律子(畿央大学)
	「情報の科学」におけるビジネスゲームを導入した授業実践の提案 97 立野貴之(松蔭大学)・加藤由樹(相模女子大学)・加藤尚吾(東京女子大学)	共通教科「情報」における観点別学習状況の評価用ルーブリックの作成と活用方法の提案 107 園田晴堂(東京学芸大学)・森本康彦(東京学芸大学)・宮寺庸造(東京学芸大学)	高校教科「情報」を大学生が支援する授業への考察(2) 117 西端律子(畿央大学)・村上徹(関西中央高等学校)
	高校のデータベース授業を支援する学習教材 99 野部緑(大阪府立寝屋川高等学校)・長瀧寛之(岡山大学)・中野由章(神戸市立科学技術高等学校)・當山達也(大阪電気通信大学)・兼宗進(大阪電気通信大学)	高校の教科情報教育との接続からみた大学の一般情報教育の在り方 109 綾皓二郎(石巻専修大学)	高大連携による TA と e-Learning を活用した実践 119 江島徹郎(愛知教育大学)・杉浦裕孝(愛知教育大学附属高等学校)・山田果林(愛知教育大学附属高等学校)・天羽康(愛知教育大学附属 高等学校)・梅田恭子(愛知教育大学)・野崎浩成(愛知教育大学)・齋藤ひとみ(愛知教育大学)
	共通教科「情報」におけるデータベースの授業展開の方向性について 101 神藤健朗(東京都市大学付属中学校・高等学校)	ルーブリックを用いた情報科の学習評価システムの開発 111 高松宗貴(九州産業大学付属九州高等学校)・山口真之介(九州工業大学)・大西淑雅(九州工業大学)・津森伸一(近畿大学九州短期大学)・若菜啓孝(九州工業大学)・西野和典(九州工業大学)	体系化された情報モラル教育のあり方に関する一考察 121 村田育也(北海道教育大学)
コンピュータによる処理手順の自動実行の理解を支援する Web 教材:AT 103 香山瑞恵(信州大学)・小林慶(信州大学大学院)・國宗永佳(信州大学)・新村正明(信州大学)	情報好きを育てる一小学校で学べる情報科学 113 青木浩幸(イーテキスト研究所)	宮城県における「情報科」担当状況 123 上杉茂樹(仙台市立仙台青陵中等教育学校)	

デモンストレーション発表

時間	F会場
13:00 ~ 13:30	iPad を用いた「デジたま講座」教材・教具の開発 125 竹田正幸(九州大学大学院)・池田大輔(九州大学)・谷口雄太(九州大学)・脇田早苗(九州大学)・池内昌子(九州大学)
	Arduino を用いたフィジカルコンピューティング教育環境の開発 126 堀内泰輔(国立長野高専)・宮崎敬(国立長野高専)
	情報科での利用を目指した指導案オーサリングシステム TeaPoT II のデモンストレーション 127 岩井憲一(滋賀大学)・中井実佳(滋賀大学)
	最先端技術を使ったアイデア発掘ツール「3G シールド」 - 中高生から学べるモバイル通信技術による情報科教育 - 128 天良和男(東京都立小石川中等教育学校)・高本孝頼(NPO 法人 3G シールドアライアンス)
	アルゴリズム要素の利用制御が可能なビジュアルプログラミング環境 129 香山瑞恵(信州大学)・小林慶(信州大学大学院)・國宗永佳(信州大学)・新村 正明(信州大学)

展示・ポスター発表

時間	E会場 (展示)	ポスター会場
13:30 ~ 14:50	iPad を用いた「デジたま講座」教材・教具の開発 125 竹田正幸(九州大学大学院)・池田大輔(九州大学)・谷口雄太(九州大学)・脇田早苗(九州大学)・池内昌子(九州大学)	市内 12 小学校で統一された情報リテラシー ~各小学校教育指導計画書のカリキュラムへ~ 130 池田勇(嘉麻市教育センター)
	Arduino を用いたフィジカルコンピューティング教育環境の開発 126 堀内泰輔(国立長野高専)・宮崎敬(国立長野高専)	中学校課外授業用の情報教材の例 131 夜久竹夫(日本大学)・中村正夫(日本大学豊山女子高等学校)・中里竹男(坂戸市立桜中学校)・細川溪(日本大学)
	情報科での利用を目指した指導案オーサリングシステム TeaPoT II のデモンストレーション 127 岩井憲一(滋賀大学)・中井実佳(滋賀大学)	ワンコインサーバを利用した教科「情報」の授業 132 鹿野利春(石川県立金沢二水高等学校)
	最先端技術を使ったアイデア発掘ツール「3G シールド」 - 中高生から学べるモバイル通信技術による情報科教育 - 128 天良和男(東京都立小石川中等教育学校)・高本孝頼(NPO 法人 3G シールドアライアンス)	新課程における情報プレースメントテスト 133 高橋参吉(帝塚山学院大学)
	アルゴリズム要素の利用制御が可能なビジュアルプログラミング環境 129 香山瑞恵(信州大学)・小林慶(信州大学大学院)・國宗永佳(信州大学)・新村 正明(信州大学)	問題解決の流れを意識させた統計グラフポスターの制作 134 滑川敬章(千葉県立柏の葉高等学校)・小泉 カ一(尚美学園大学)
	↑ E会場の展示はデモンストレーション発表と同一テーマ	Web ページ制作授業における RubiStar を用いたルーブリックの開発 135 荒巻恵子(早稲田大学高等学院)・橘孝博(早稲田大学高等学院)・鶴田利郎(早稲田大学高等学院) 情報科における「観点別学習状況の評価」の評価方法 136 森本康彦(東京学芸大学) 指導案オーサリングシステム TeaPoT II を利用した情報科教育支援 への取り組み 137 中井実佳(滋賀大学)・岩井憲一(滋賀大学) Arduino 用 3G シールドの特長とメリット 138 高本孝頼(NPO 法人 3G シールドアライアンス)・天良和男(東京都立小石川中等教育学校) 高大連携による生徒の自主性を伸ばす活動の実施報告 139 河村泰之(愛媛大学)・八木昌生(愛媛大学附属高等学校)

パネルディスカッション

時間	G会場
15:00~16:30	「情報科の役割と社会で求められる基礎的な力」 進行：小泉カー(尚美学園大学) パネリスト 永井克昇(文部科学省)、駒谷昇一(株式会社 NTT データ)、片岡晃(独立行政法人情報処理推進機構) 坂田圭司(東海大学)、遠藤陵二(東海大学付属浦安高等学校)

クロージング

時間	G会場
16:30~16:45	クロージング司会 宮寺庸造(東京学芸大学)